

ジーシー アクロンMC

【禁忌・禁止】

メタクリレート系ポリマー、メタクリレート系モノマーに対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

概要：本材は、義歯床として使用する加熱重合レジンである。

形状

- ・粉末 : ボトル入り 500g、シンプルパック 1 kg、
- ・液 : 瓶入り 250g (266mL)

色調（全 3 色）＝No. 3（ピンク）

- No. 4（ダークピンク）
- No. 8（ライブピンク）

主成分

- ・粉末 : メタクリル酸エステル重合体
- ・液 : メタクリル酸メチル

原理

- ・粉末と液を混合すると粉末が膨潤し餅状になり、加熱により重合硬化に至る。

特性

23℃における填入時間の目安は下記の通りです。
環境温度により、餅状化時間は影響を受けます。
（高温下での使用・操作では、餅状化が早くなります。）

環境温度	23℃
標準粉液比	粉／液＝100g/43mL
餅状化時間	混和後 約 20 分から 25 分間

【使用目的又は効果】

メタクリル酸エステル単量体及び重合体等を主成分とし、マイクロ波による加熱重合法によって義歯床を製作するために用いる。

【使用目的又は効果に関する使用上の注意】

- 1) 金属フラスコを使用するとマイクロ波の反射が起こるため、必ず専用の F R P フラスコを使用すること。

【使用方法等】

- 1) ろう義歯の作製及び埋没
通法に従いろう義歯を作製し、石こうにてジーシー F R P フラスコに埋没します。
- 2) 流ろう
石こうが硬化した後、ワックスを溶解しない程度に軟化し、一塊にして除去します。さらに洗剤を溶かした熱湯で洗い、ワックスを完全に除去します。脱ろうが不十分な場合、レジン歯への結合が弱くなりますので注意します。ワックスの軟化は、マイクロ波を 500W で約 1 分間照射して行うことができますが、ワックスの量により照射時間を調節する必要があります。粉末量は、仮床ワックスの重量の約 20%増を計量します。
- 3) レジン分離材の塗布
通法に従い脱ろう後、石こう面を沸騰水で充分洗浄します。脱ろうが不十分な場合、レジン歯への結合が弱くなるので注意します。
石こう面を沸騰水で充分洗浄し、義歯床用レジン分離材（ジーシー ニューアクロセップ等）を均一に塗布し乾燥します。
- 4) 計量
除去したワックス塊の重量を計り、その約 10%増しを計量します。標準粉液比は粉末 100g に対し液 43mL です。

5) 粉と液の混和及び餅状化

アクロン混和器に必要な量の液を取り、容器を軽く叩きながら粉末を加えます。粉末上に余剰の液層が残らなくなるまで粉末を加えることにより、標準粉液比が得られます。混和器のフタをしめて放置すると、23℃において約 20 分で填入可能な餅状になります。23℃における填入時間の目安は、およそ 20 分から 25 分間です。

6) 填入及び加圧

餅状となったレジンは一塊にして容器から取り出し、直接手で触れないようにポリエチレンシートを介して形を整え、F R P フラスコの蓋を閉めて、バリが出なくなるまで試圧を 2 ～ 3 回繰り返します（この際別売りのジーシー フラスコガードを併用すると、F R P フラスコを痛めず、しかも作業を能率良く行うことができます。蓋の上から、ボルト挿入口にフラスコガードをはめ、フラスコプレスで加圧します。）

7) フラスコのナット締め

付属のボルトを下盆の下方から差し込み、フラスコプレスで加圧します。蓋の上方からボルトにナットをはめ、手で軽く締めた後、付属のレンチを使って約 60° だけ回転して締め付けを完了します。60° 以上回転すると、繰り返し使用している間にボルトが疲労し、破断する可能性がありますので充分注意します。トルクレンチを使用してナットを締める場合は、40kgf・cm で行います。

8) レジンの重合

フラスコをマイクロ波照射装置に入れ、出力 500W で 3 分間マイクロ波を照射します。床の大小にかかわらず、本材は 500W で 3 分間のマイクロ波照射で重合が完了します。金属床義歯でレジンが金属の影になり、マイクロ波が当たりにくい部分がある場合は、1 分 30 秒間照射した後フラスコを反転させ、再び 1 分 30 秒間照射します。

9) 冷却及び義歯の掘り出し

マイクロ波照射後のフラスコを取り出し、30 分以上出来るだけ長時間室温で放冷した後、冷水に入れ完全に冷却してから義歯を掘り出します。本材は 500W で 3 分間マイクロ波を照射後、すぐに冷水で冷却し掘り出した場合でも重合は完了し、十分な物性が得られますが、よりよい適合精度を得るために出来るだけ徐冷します。

10) 研磨

通法に従い研磨を行います。

11) 保管

完成した義歯床は、口腔内に装着するまで水中に保管します。

【使用方法に関連する使用上の注意】

- 1) 本材は、標準粉液比（粉／液＝100g/43mL）で使用する。
- 2) 液を低い温度で保管した場合、成分の一部が結晶化して白く濁ることがあるので、このときは室温（23℃前後）に戻してから使用すること。（23℃前後で徐々に元の状態に戻り、問題なく使用することができます。）
- 3) 義歯床用レジン分離材を石こう面に塗布する際、人工歯に義歯床用レジン分離材が付着しないように注意すること [床と人工歯の接着を阻害する可能性がある。]
- 4) クラスプ、バーなど金属線を含む床を重合する場合は、ジーシーアドバストーン（埋没用石こう）で埋没し、ガラスコップに水（約 180mL）を入れ、F R P フラスコの横に置き、マイクロ波を照射すること。[金属がスパークする可能性がある。]
- 5) マイクロ波照射による餅状化の促進は、餅状レジンの厚さによりむらができたり、操作余裕時間が極端に短くなることがあるため、通常の方法で餅状化させること。
- 6) 填入のタイミングをすぎたゴム状のレジン混和器中に放置すると、硬化することがあるので注意すること。[室温下で硬化反応が一部進行するため。]

- 7) フラスコは1個ずつ重合すること。2個以上同時に入れて重合すると、加熱条件が変化し重合むらの原因となるため、複数の同時重合は避けること。
- 8) 本材を使用した硬化物の研磨作業等の際には、粉塵による人体への影響を避けるために、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスク等を使用し、粉塵を吸入しないこと。

【使用上の注意】

- 1) 使用注意（次の患者には慎重に適用すること）
 - ①薬剤、食品、アクセサリ、化学物質等に過敏症の既往歴がある患者には、本材及び類似品に対して過敏症歴がなくても問診を行い、慎重に適用すること。
- 2) 重要な基本的注意
 - ①本材の使用により発疹などの過敏症状を起こした患者には、使用を中止し、すぐに医師の診断を受けさせること。
 - ②本材に対して、発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある術者は、本材を使用しないこと。また、使用により過敏症状を起こしたときは、使用を中止し、すぐに医師の診断を受けること。
 - ③液又は液と粉末の混合物は、直接素手で触れないこと。また、皮膚に付着させたり、目に入らないように注意すること。皮膚に付着したときは、すぐにアルコールなどで拭いた後、流水で洗浄すること。万一目に入ったときは、すぐに多量の流水で洗浄し、眼科医の診断を受けること。
 - ④重合した義歯床は、水中に保存し、残留モノマーを溶出させてから、口腔内に装着すること。[過敏症を誘発する可能性がある。]
 - ⑤本材を火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。また、テーブル、床上などにこぼしたときは、すぐに乾いた布でよく拭き取ること。[引火又は発火する可能性がある。]
 - ⑥本材を使用する際には、適切な換気（1時間当たり数回の換気）がなされている場所で使用すること。[溶剤が人体に影響する可能性がある。]
 - ⑦他の製品と混用しないこと。[製品本来の性能が得られない可能性がある。]
 - ⑧開封後は、できるだけすみやかに使用すること。[開封後は経時変化の状況に影響を及ぼす可能性がある。]
 - ⑨本材は、【使用目的又は効果】に記載の用途以外には使用しないこと。
 - ⑩本材は、歯科医療有資格者以外は使用しないこと。
 - ⑪本材については、試験によるMR安全性評価を実施していない。（自己認証による）*

【保管方法及び有効期間等】

〔保管方法〕

- ・本材は火気厳禁の冷暗所に保管し、一つの保管庫に大量に保管しない。
- ・高温となる場所（ストーブの側、直射日光の当たる場所など）を避けて保管する。
- ・保管する場所には、消火装置を備える。
- ・本材は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理する。
- ・容器は、使用后すぐに密栓する。

〔有効期限〕

本材は、包装に記載の使用期限※までに使用すること。

※（例EXP. 2028-06は
使用期限2028年 6月を示す。）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元 : 株式会社ジーシーデンタルプロダクツ
主たる設計元 : 株式会社ジーシー

発売元 : 株式会社ジーシー
住所 : 〒113-0033
東京都文京区本郷3丁目2番14号
電話番号 : （お客様窓口）0120-416480